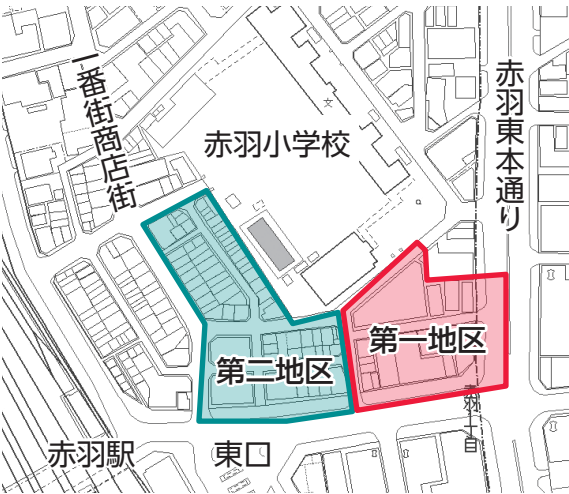




赤羽駅前で再開発すすむ



北区議会地域開発特別委員会に報告

5日に開かれた北区議会地域開発特別委員会で、赤羽1丁目における市街地再開発の進捗および今後の対応について、区の担当者から報告がありました。2つの区域での再開発は、現在どこまで進んでいるでしょうか。(のの山けん)

市街地再開発が計画されているのは、駅前通りと東本通りに隣接する第一地区と第二地区です(左図参照)。第一地区では一昨年の6月、すでに「赤羽一丁目第一地区再開発準備組合」が発足し、今年6月には区に対して事業化に向けた要望書

が提出されました。

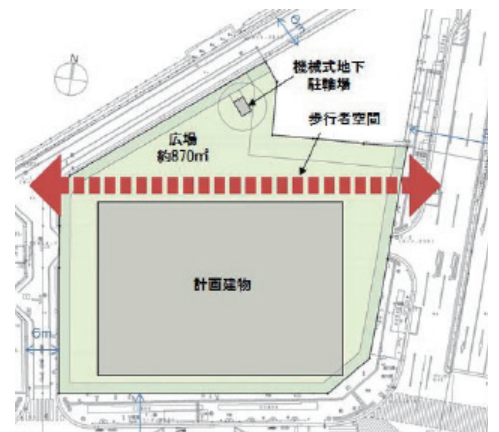
その内容は、①計画敷地中央を東西に通る区道を廃止し、準備組合に有償譲渡することとで大街区化し、容積緩和をはかる、②準備組合が敷地内に最大250台の機械式地下駐輪場を整備し、その後、管理運営することで赤羽駅東口のまちづくりに貢献する、というもので、区はこの要望を前向きに受け止めるとしています。

準備組合は区道を廃止する代わりに、敷地北側の広場に歩行者空間を設けるとしています(下図参照)。
私は「赤羽駅東口広場の機械式地下駐輪場

計画は地下水により断念したが、この再開発では大丈夫か」と質疑。区は「当時から技術革新も進んでいる」などと答えました。

一方、第二地区では、権利者79名のうち、「準備組合」の名称を使用した準備組織に加入しているのが44名(5月末現在・加入率56%)

にとどまっております、今後、法定要件(権利者の3分の2以上)を満たした段階で、都知事に準備組合の設立届が提出される予定です。



第一地区の計画による歩行者空間イメージ



豪雨災害に支援を

11日早朝、赤羽駅東口で西日本豪雨災害への救援募金を訴え。1万1628円が寄せられました(のの山けん)

安倍9条改憲NO! 憲法を生かす3000万人署名

盲導犬とともに訴え

視覚障害者9条の会と党後援会が合同宣伝

7日、赤羽駅東口で、視覚障害者9条の会と日本共産党志茂・赤羽後援会が合同署名宣伝行動を行いました。

同日の会は、これまで「点字署名」を1600人分集めてきましたが、街頭で訴えるのは今回が初めてです。駅前広場では、2匹の盲導犬も署名活動を支えました。

マイクを握った会員の山城完治さんは「戦争は障がい者にとって最大の暴力。9条が必



要」と、田中章治さんも「9条改憲で自衛隊は地球の裏側まで派遣され、殺す殺される関係になる」と危険を訴え。1時間の行動で、65筆の署名が寄せられました。(のの山けん)

IKEBA PROJECT

池内さおりとみんなが集まる場所作りプロジェクト

始動!!



プロジェクトのロゴをしめす池内さおり前衆院議員

7日、志茂に開設される衆議院東京12区事務所の着工式が開かれました。みんなの手で作りあげる事務所の改修がスタートしました。(のの山けん)



この事務所をみんなで改修していきます